

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごしていただけるよう、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみ事の聞き取りや理解がまだまだ不十分である。	利用者の「元気な今だから出来ること」の実現を支援する。	・利用者の個々の「願いや思い」の聞き取りを行う。 ・実現に向けての体力作りの為に日々の散歩や体操、その方の希望に添った外出の機会を増やす。 ・再度、生活歴を見直す。家族の協力をいただき、頻りに家族カンファレンスを行う。	12ヶ月
2	40	○食事を楽しむことの出来る支援 1人ひとりの好みや力を活かしていきたくない。利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしていく。	日々の生活の充実を図り、ご利用者が元気で笑顔ある食生活が送れるような環境作りに努める。	・普段の生活の中で、それぞれの思いを開きながら、献立を作成し、「笑顔の食卓」の時間にしていく。 ・食生活の質の向上を目指し食の勉強会を行う。	12ヶ月
3	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 利用者の訪問時や美容室をリビングフロアの一角で行っている。共有空間なのでプライバシーの保護出来ていない。	一部プライバシーを確保できる空間づくりの場を工夫する。	・家具などパーテーションやソファを利用して、プライベート空間を作り、ゆっくり過ごせる空間を検討。また、利用者の見守り安全管理に努める。	6ヶ月
4	35	○災害対策 どの部屋にどのような状態の利用者が生活されているか明記されていない、災害時にスムーズに救出出来ない。	・どの部屋にどのような利用者が生活しているのか、わかるようにする。	・各部屋の入口にわかるようにする。また、消防署にも見取り図などを提出し協力を求める。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。